

中国清華大学とタイアップした 東アジア広域版国際物流モデルの構築



港湾研究部 港湾システム研究室 主任研究官 柴崎 隆一

筆者は、2006年8月より2007年3月まで、中国清華大学深圳（シンセン）研究生院現代物流研究センターに客員研究員として滞在した。当センターは、2001年に広東省深圳市に新キャンパスが建設された際に新設され、特に筆者の専門である物流モデリングの分野における研究蓄積に乏しかったために技術指導・協力を行った。

滞在中は、筆者が中心となり国総研で開発した国際物流モデルをベースに、清華大学との共同作業により、中国や東アジア地域のインターモーダル輸送（国内背後輸送）ネットワークを含めた物流モデルへと拡張し、中国の港湾投資

政策や、中国・東南アジアのメコン川流域（GMS）における越境抵抗通減などの国際交通政策が国際物流に与える影響等について分析を行った。

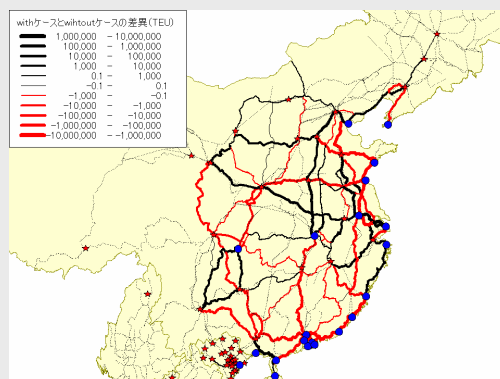


図 中国における港湾投資の有無による物流の差異